

横三労連新聞 第90号



2014年3月18日発行

docomo au/ソフトバンク

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail: yv2t-tnk@asahi-net.or.jp

〒238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



ビキニ被災60周年！ 「放射能を浴びたX年後」を上映

ビキニ被災から60周年を迎え、全国で最も大きな被害を出し、原水禁運動の発祥の地の一つとなった三崎（現三浦市）で、4月20日（日）午後「うらり」に安齋育郎先生を招き、三浦市民集会が開かれます。

そのプレ企画として、2月23日（日）、三浦市青少年会館にて、「放射能を浴びたX年後」の上映会が開催されました。朝のうち小雨がぱらつく天気でしたが、午前から会場にあふれんばかりの参加者の熱気に包まれ、180名が参加しました。この映画は、高校生たちとともに藤井節弥さんの二重被爆を発見した山下正寿先生の活動を追いながら、被爆船員たちの消息を追っています。

20年前、三崎の被災状況をまとめたジャーナリスト・森田さんの挨拶もありました。

介護のつどいに50名超！

3/2（日）、産業交流プラザで開催された、横須賀社保協主催の学習会「介護保険を考えるつどい」には、50名を超える参加者が殺到。レジュメが足りなくなり、座る場所にも困る有様で、熱気に包まれました。最初に、県社保協の阿部事務局次長が挨拶し、「県社保協として、大きな学習会を開くのではなく、地域ごとに学習会を開く方針。横浜では55名が参加した」との報告がありました。

中央社保協事務局次長の前田淑子さんの講演「介護保険改訂でどうなる高齢者の生活・地域の介護」は、迫力あるお話で時間が経つのを忘れる程でした。

市の介護保険課長の特別報告のあと、質疑応答では、参加者の方々から密度の濃い質問が連発し、充実した「つどい」となりました。

横須賀市民9条の会9の日アピールに参加しました！

秘密保護法撤廃の宣伝で、集団的自衛権のパンフも配りました。神奈川労連の住谷さんも応援にかけつけ、全体で9名の参加で、「秘密のアッコちゃん」の替え歌からスタートしました。ビラの受け取りは悪いものの、署名は11筆で、そのほとんどが若い人です。

